

# スマートシティ構築における SuperMap GIS の役割と実践

日本スーパーマップ株式会社

時空間 DX 事業部

2025 年 2 月ドラフト

## はじめに

現代社会において、都市化は世界的な潮流であり、人口集約、環境問題、インフラ老朽化、災害リスクなど、都市は様々な課題に直面しています。これらの課題を解決し、持続可能な都市開発を実現するために、ICT 技術を駆使したスマートシティの概念が注目されています。スマートシティは、都市のあらゆる情報を収集・分析し、都市機能の効率化、市民サービスの向上、生活の質の向上を目指します。

スマートシティを実現する上で、GIS（地理情報システム）は基盤技術として重要な役割を担います。GIS は、地理空間情報を統合・管理・分析し、可視化することで、都市計画、防災、交通、環境など、様々な分野で意思決定を支援します。

SuperMap GIS は、2D/3D 一体化 GIS プラットフォームとして、高度な GIS 機能、AI 技術との連携、クラウドネイティブなアーキテクチャなどを備え、スマートシティ構築に最適なソリューションを提供します。本稿では、スマートシティにおける GIS の重要性、SuperMap GIS の概要と特長、活用事例などを解説し、スマートシティ構築における SuperMap GIS の役割と実践についてまとめます。

## 1. スマートシティにおける GIS の重要性

### 1.1 スマートシティとは

スマートシティとは、ICT 技術を活用し、都市が抱える様々な課題を解決することで、市民の生活の質向上、都市の持続可能な発展を目指す都市開発の概念です。具体的には、交通渋滞の緩和、エネルギー消費の効率化、環境問題への対応、防災・減災対策の強化、医療・福祉サービスの向上、行政サービスの効率化など、多岐にわたる分野での改善を目指します。

スマートシティを実現するためには、都市のあらゆる情報を収集・分析し、その結果に基づいて都市機能を最適化することが重要です。そのため、センサーネットワーク、IoT、ビッグデータ、AI などの技術が活用されます。

### 1.2 スマートシティにおける GIS の役割

GIS は、地理空間情報を統合・管理・分析し、可視化するための技術です。スマートシティにおいて、GIS は都市のあらゆる情報を地理空間情報と結びつけ、都市全体の状況を把握するための基盤となります。

GIS は、都市計画、防災、交通、環境など、様々な分野で活用され、スマートシティの実現に貢献します。例えば、都市計画においては、3D 都市モデルを用いて都市開発のシミュレーションを行い、最適な

計画立案を支援します。防災においては、ハザードマップを作成し、避難経路を最適化することで、災害リスクの軽減に貢献します。

### 1.3 GIS の活用分野

スマートシティにおける GIS の活用分野は多岐に渡り、以下はその代表的な例です。

- **都市計画**: 都市開発、土地利用計画、インフラ整備計画など
- **防災・減災**: ハザードマップ作成、避難経路計画、災害シミュレーションなど
- **交通**: 交通渋滞の緩和、公共交通機関の運行管理、交通需要予測など
- **環境**: 大気汚染、水質汚染、騒音などのモニタリング、環境影響評価など
- **エネルギー**: エネルギー消費量の把握、再生可能エネルギー導入計画など
- **インフラ**: 道路、橋梁、上下水道などの維持管理、老朽化対策など
- **医療・福祉**: 医療施設の配置計画、高齢者向けサービスの提供など
- **教育**: 学校施設の配置計画、教育環境の改善など
- **観光**: 観光ルートの案内、観光情報の提供など
- **行政**: 行政サービスの効率化、市民への情報提供など

## 2. SuperMap GIS の概要と特長

### 2.1 SuperMap GIS とは

SuperMap GIS は、2D/3D 一体化 GIS プラットフォームです。クラウド、エッジ、エンドの各環境に対応した製品群を提供し、データ管理、分析、可視化、サービス公開など、GIS に関するあらゆる機能を網羅しています。

SuperMap GIS は、世界 100 カ国以上で利用されており、都市計画、防災、環境、交通、資源管理など、様々な分野で導入実績があります。

### 2.2 SuperMap GIS の製品体系

SuperMap GIS は、以下の製品群で構成されています。

- **クラウド GIS サーバー**
  - SuperMap iServer: 高性能な GIS サーバーソフトウェア。GIS サービスの配信、管理、集約機能を提供。
  - SuperMap iPortal: GIS リソースを統合管理するポータルソフトウェア。地図、サービス、アプリケーション、データなどを一元的に管理。
  - SuperMap iManager: GIS システムの運用管理ソフトウェア。GIS サービスのデプロイ、監視、管理。
  - SuperMap Online: オンラインで GIS サービスを提供するプラットフォーム。オンラインでのデータ管理、サービス公開、開発環境などを提供。
  - SuperMap ImageX Enterprise: リモートセンシング画像処理サーバーソフトウェア。リモートセンシングデータの処理、分析、判読をサポート。

- **エッジ GIS サーバー**
  - SuperMap iEdge: クライアントに近い位置に配置され、サービス公開とリアルタイム分析処理を行うエッジソフトウェアプラットフォーム。
- **デスクトップ GIS**
  - SuperMap iDesktopX: データ編集・加工、詳細な分析、地図作成などを行うためのデスクトップ GIS ソフトウェア。
- **コンポーネント型 GIS**
  - SuperMap iObjects: 二三次元一体化の GIS 開発プラットフォーム。多様な開発環境 (Java, .NET, C++) に対応。
- **モバイル GIS**
  - SuperMap iMobile: スマートフォンやタブレット端末で GIS データを活用するためのモバイル GIS 開発プラットフォーム。
  - SuperMap iMobile Lite: 軽量のモバイル GIS 開発プラットフォーム。

## 2.3 SuperMap GIS の特長

SuperMap GIS は、以下の特長を備えています。

- **2D/3D 一体化 GIS プラットフォーム:** 2次元と3次元のデータをシームレスに統合し、管理・分析・可視化することができます。
- **高度な 3D GIS 機能:** 現実世界の地形や建物などを 3D モデルとして再現し、高度な可視化と分析を可能にします。
- **多様なデータ形式への対応:** 様々なデータ形式をサポートし、既存のデータ資産を有効活用できます。
- **ビッグデータ処理能力:** 大規模な空間データを効率的に処理し、高度な分析や可視化が可能です。
- **地理空間 AI:** AI 技術を活用した画像解析、オブジェクト抽出、予測分析など高度な機能を提供します。
- **分散処理技術:** クラウド環境での分散処理により、高速なデータ処理とスケーラビリティを実現します。
- **クロスプラットフォーム対応:** 多様な OS やデバイスで利用可能であり、柔軟なシステム構築が可能です。
- **クラウドネイティブ:** クラウド環境での利用に最適化されており、分散処理やスケーラビリティに優れています。
- **マイクロサービスアーキテクチャ:** 柔軟なデプロイと拡張をサポートします。

## 3. スマートシティにおける SuperMap GIS の活用

### 3.1 3D 都市モデルの構築と活用

#### 3.1.1 3D 都市モデルとは

3D 都市モデルは、都市の地形、建物、インフラなどを 3 次元で再現したデジタルモデルです。スマートシティにおいては、都市計画、防災、観光、住民サービスなど、様々な分野で活用される基盤情報となります。

3D 都市モデルは、航空写真、DEM（数値標高モデル）、BIM（Building Information Modeling）データ、3D スキャナーデータなど、様々なデータを用いて構築されます。

#### 3.1.2 SuperMap GIS による 3D 都市モデル構築

SuperMap GIS は、高度な 3D GIS 機能を備えており、高精度な 3D 都市モデルの構築を支援します。

- **地形データの 3D 化:** 航空写真、DEM などのデータを用いて、地形を 3D で正確に再現します。
- **建物データの 3D 化:** BIM データや、3D スキャナーデータを用いて、建物の形状や構造を 3D モデル化します。
- **インフラデータの 3D 化:** 道路、橋梁、河川、上下水道などのインフラ情報を 3D モデル化し、統合的な管理を可能にします。

SuperMap GIS は、点群データ処理、テクスチャマッピング、傾斜分析、日照分析など、3D 都市モデル構築に必要な様々な機能を提供します。

#### 3.1.3 3D 都市モデルの活用事例

- **都市計画・防災**
  - 災害シミュレーション: 洪水、地震などの災害発生時の状況をシミュレーションし、被害予測や避難計画に活用。
  - 避難経路の計画: 3D 都市モデル上で避難経路をシミュレーションし、最適な避難経路を検討。
  - 都市開発の検討: 新しい建物を建設した場合の景観への影響などをシミュレーションし、都市開発計画に活用。
- **観光振興**
  - バーチャル観光: 3D 都市モデルを活用し、観光地のバーチャルツアーを提供。
  - 観光ルート案内: 3D 都市モデル上で観光ルートを案内し、観光客の利便性向上。
  - AR/VR コンテンツ: 3D 都市モデルを AR/VR コンテンツに活用し、観光体験を豊かに。
- **住民向けサービス**
  - 3D ナビゲーション: 3D 都市モデルを活用したナビゲーションアプリを提供し、目的地までの経路案内。
  - 情報提供サービス: 3D 都市モデル上に公共施設、店舗などの情報を表示し、住民へ

の情報提供。

- **建設プロジェクトの効率化**

- BIM/CIM 統合: BIM/CIM モデルを GIS に統合し、設計・施工・維持管理の各段階で情報を共有。
- 進捗管理: 3D 都市モデル上で建設プロジェクトの進捗状況を可視化し、効率的な管理を実現。

### 3.2 データ連携基盤の整備

#### 3.2.1 データ連携基盤の重要性

スマートシティでは、様々なセンサー、IoT デバイス、行政システムなどから大量のデータが生成されます。これらのデータを統合・管理し、一元的に活用できるデータ連携基盤を整備することが重要です。

データ連携基盤により、データの重複を防ぎ、データの精度を向上させることができます。また、様々なデータを組み合わせることで、新たな知見や価値を創出し、より効果的な施策立案やサービス提供が可能になります。

#### 3.2.2 SuperMap GIS によるデータ連携基盤の構築

SuperMap GIS は、多様なデータ形式やシステムとの連携をサポートし、データ連携基盤の構築に貢献します。

- **オープンデータ:** 行政情報や地理空間情報をオープンデータとして公開し、民間事業者や研究機関によるデータ活用を促進。
- **API 連携:** 各システムの API を介してデータ連携を行い、データ共有と相互運用性を確保。
- **データ標準化:** データ形式や属性を標準化し、データ連携を容易に。

SuperMap GIS は、ETL ツール、データウェアハウス、データカタログなどの機能を提供し、データ連携基盤の構築を支援します。

#### 3.2.3 データ連携基盤の活用事例

- **データに基づいた政策決定:** 様々なデータを分析し、客観的な根拠に基づいた政策立案が可能に。
- **行政サービスの効率化:** 窓口業務のオンライン化、手続きの簡素化など、行政サービスの効率化と住民の利便性向上に貢献。
- **地域経済の活性化:** データを活用した新たなビジネス創出を促進し、地域経済の活性化を支援。

### 3.3 スマートシティサービスの実現

#### 3.3.1 SuperMap GIS によるスマートシティサービスの開発

SuperMap GIS は、豊富な GIS 機能、AI 技術、開発ツールなどを提供し、様々なスマートシティサービスの開発を支援します。

- **WebGIS:** SuperMap iServer、SuperMap iPortal などを活用し、Web ブラウザ上で

GIS 機能を利用できる WebGIS システムを構築。

- **モバイル GIS:** SuperMap iMobile などを活用し、スマートフォンやタブレット端末で利用できるモバイル GIS アプリを開発。
- **空間解析:** SuperMap GIS の空間解析機能を活用し、都市の課題解決に役立つ分析結果を提供。
- **AI 連携:** SuperMap GIS の AI 機能を活用し、画像解析、予測分析など、高度なサービスを実現。

### 3.3.2 スマートシティサービスの事例

- **地域交通の最適化**
  - バス路線の最適化: 乗客数、道路状況などを分析し、最適なバス路線を計画。
  - デマンド交通の導入: 利用者のニーズに合わせて運行するデマンド交通システムを構築。
  - リアルタイムの運行情報提供: バスや電車の運行情報をリアルタイムに提供し、利用者の利便性向上。
- **スマート農業の推進**
  - 農作物の生育状況の分析: リモートセンシングデータなどを活用し、農作物の生育状況を分析。
  - 病害虫の早期発見: AI 技術を活用し、画像から病害虫を早期に発見。
  - 最適な施肥計画: 土壌データなどを分析し、最適な施肥計画を策定。
- **観光振興**
  - 3D モデルと AR 機能を活用した観光ルートの開発: 3D 都市モデルと AR 技術を組み合わせ、観光ルートを魅力的に演出。
  - 多言語対応の観光情報アプリの提供: 多言語に対応した観光情報アプリを提供し、外国人観光客の誘致。
- **防災・減災対策**
  - ハザードマップの作成: 洪水、地震などのハザードマップを作成し、住民に災害リスクを周知。
  - 避難経路の最適化: 3D 都市モデルを活用し、最適な避難経路を探索
- **地域コミュニティの活性化**
  - コミュニティマップの構築: 地域住民が情報を共有できるコミュニティマップを構築し、交流を促進。
  - 地域イベント情報やサークル活動情報の共有: 地域イベント情報やサークル活動情報を GIS 上で共有し、地域コミュニティの活性化を支援。
- **環境モニタリング**
  - 大気汚染、水質汚染の状況をリアルタイムに監視: センサーネットワークなどと連携し、大気汚染、水質汚染の状況をリアルタイムに監視。
  - 環境汚染源の特定: GIS を用いて、環境汚染源を特定し、対策を検討。
- **エネルギー管理**

- エネルギー消費量の把握：スマートメーターなどと連携し、建物や地域全体のエネルギー消費量を把握。
- 再生可能エネルギー導入計画の策定：GISを用いて、太陽光発電、風力発電などの適地を分析し、再生可能エネルギー導入計画を策定。
- **インフラ管理**
  - 道路、橋梁、上下水道などの情報を一元管理：インフラ情報をGIS上で一元管理し、効率的な維持管理を実現。
  - 老朽化対策：インフラの老朽化状況をGIS上で可視化し、優先的に対策が必要な箇所を特定。
- **医療・福祉**
  - 医療施設の配置計画：地域住民のニーズに合わせて、最適な医療施設配置計画を策定。
  - 高齢者向けサービスの提供：高齢者の生活状況をGIS上で把握し、適切なサービスを提供。
- **教育**
  - 学校施設の配置計画：地域住民のニーズに合わせて、最適な学校施設配置計画を策定。
  - 教育環境の改善：GISを用いて、通学路の安全確保、教育施設のバリアフリー化などを検討。
- **防犯・セキュリティ**
  - 犯罪発生状況の分析：犯罪発生場所、時間帯などをGIS上で分析し、効果的な防犯対策を検討。
  - 防犯カメラの設置場所の検討：GISを用いて、防犯カメラの設置場所を検討し、犯罪抑止効果を高める。

## 4. SuperMap GIS の具体的な機能

### 4.1 データ管理機能

SuperMap GIS は、様々な形式の空間データを効率的に管理できます。

- **データセット**：ポイント、ライン、ポリゴン、ラスタ、ネットワーク、TIN、モデルなど多様なデータタイプをサポート。
- **データソース**：データを保存する場所であり、様々なデータベースやファイル形式に対応。
- **ワークスペース**：データを整理するための基本単位であり、複数のデータソースやデータセットを管理可能。

### 4.2 空間データエンジン SuperMap SDX+

SuperMap SDX+は、高性能な空間データエンジンであり、効率的なデータ管理・アクセスを提供します。

- **グリッドデータとベクタデータの一体化:** グリッドデータとベクタデータを同じデータソースに保存し、一緒に管理、表示、分析できます。
- **オブジェクト指向とトポロジの一体化:** オブジェクト指向のデータモデルとトポロジ指向のネットワークデータモデルを同じデータソースに保存し、相互変換をサポート。
- **GISとCADの一体化:** GISデータとCADデータを統合し、相互利用を可能にします。
- **様々なデータベースのサポート:** Oracle, SQL Server, PostgreSQL, MySQL などに対応し、空間データと属性データを一括管理します。

### 4.3 データ変換機能

SuperMap GIS は、異なる GIS プラットフォーム間でデータを移行するための機能を提供します。例えば、ArcGIS のデータモデルを SuperMap のデータモデルに変換できます。

- **対応データタイプ:** 点、線、面、注記、ラスタ、画像、ネットワークデータなど。
- **シンボル変換:** 点、線、塗りつぶしシンボルを変換できます。
- **主題図変換:** ラベル、単一値、段階、統計主題図を変換できます。
- **注釈変換:** 注釈の回避、表現、重み、スタイルを変換できます。
- **レイアウト変換:** 地図、凡例、方位記号、縮尺を変換できます。

### 4.4 分析機能

SuperMap GIS は、豊富な分析ツールを提供します。

- **空間解析:** 空間的な関係を分析し、パターンや傾向を発見します。
  - オーバーレイ分析: 複数のレイヤーを重ね合わせて新しいレイヤーを作成します。
  - バッファ分析: 特定の範囲内のデータを抽出します。
  - 等値線・等値面抽出: サーフェスデータから等値線や等値面を生成します。
  - 空間統計分析: 空間的なパターンや関連性を発見します。
  - 空間クラスタリング: 空間的に集まっている場所を特定します。
  - ホットスポット分析: 統計的に有意なホットスポットとコールドスポットを識別します。
  - 空間回帰: 空間的な要因と他の要素との関係をモデル化します。
- **ネットワーク分析:** ネットワークデータを用いて、最適な経路や資源配分を計算します。
  - 経路探索: 最短経路や最適な経路を計算します。
  - 交通分析: 交通網の状況や交通流を分析します。
- **AI 分析:** AI 技術を活用した画像解析、オブジェクト抽出、予測分析などを提供します。
  - 画像分類: 画像内のオブジェクトやシーンを分類します。
  - オブジェクト検出: 画像内の特定のオブジェクトを検出します。
  - 映像分析: 映像内のオブジェクトを追跡し、分析します。
  - 空間予測: 空間データに基づいて将来の状況を予測します。
- **リモートセンシングデータの解析:** 衛星画像などのリモートセンシングデータを解析し、地物の変化や状況を把握します。

## 4.5 可視化機能

SuperMap GIS は、地図の作成、主題図の作成、3D 表示など、多様な可視化機能を提供します。

- **地図作成:** 空間データを地図として表現し、視覚的な理解を助けます。
- **主題図作成:** 特定のテーマに関する情報を地図上に表示し、データの分布や傾向を可視化します。
- **3D 表示:** 3D モデルを視覚化し、現実世界をより忠実に表現します。
- **シンボルや色設定:** 地図表現のカスタマイズが可能で、見やすく、わかりやすい地図を作成できます。
- **ラベル表示:** 地図上の情報を最適に表示し、情報の理解を助けます。
- **映像と GIS の連携:** 監視カメラやドローンなどの映像データと GIS データを連携させ、状況把握を支援します。

## 4.6 リモートセンシングデータ処理機能

SuperMap GIS は、リモートセンシング画像の処理、分析、判読をサポートします。

- **オルソ画像作成:** リモートセンシング画像の幾何補正を行い、正確な地図を作成します。
- **画像モザイク:** 複数の画像を結合して、大きな一枚の画像を作成します。
- **画像融合:** 複数の画像を融合して、より詳細な情報を含む画像を作成します。
- **画像のインテリジェントな解読:** AI 技術を活用して、画像の分類、オブジェクト抽出、変化検知などを行います。

## 5. スマートシティ構築における SuperMap GIS の実践例

SuperMap GIS は、国内外の様々なスマートシティプロジェクトで活用されています。具体的な事例については、SuperMap のウェブサイトや関連資料を参照してください。

事例としては、以下のようなものが挙げられます。

- **都市計画:** 3D 都市モデルを活用した都市計画立案、都市開発シミュレーション
- **防災・減災:** ハザードマップ作成、避難経路計画、災害シミュレーション
- **交通管理:** 交通情報収集・分析、交通渋滞緩和、公共交通機関運行管理
- **環境管理:** 大気汚染、水質汚染モニタリング、環境影響評価
- **エネルギー管理:** エネルギー消費量把握、再生可能エネルギー導入計画策定
- **インフラ管理:** インフラ情報一元管理、老朽化対策
- **農業:** 農作物の生育状況モニタリング、病害虫早期発見
- **観光:** 観光ルート開発、観光情報提供

## 6. SuperMap GIS 導入計画と体制

### 6.1 導入ステップ

SuperMap GIS の導入は、以下のステップで段階的に進めます。

- ① **現状分析:** 既存システムの調査、データ整備状況の確認、課題の抽出を行います。

- ② **要件定義**: 必要な機能、性能、連携システムなどを明確化します。
- ③ **システム設計**: システム構成、データモデル、ネットワーク構成などを決定します。
- ④ **システム構築**: ソフトウェア導入、データ移行、システム連携を行います。
- ⑤ **テスト**: システムが正常に動作するか検証を行います。
- ⑥ **運用開始**: システムを本稼働させ、運用・保守を行います。
- ⑦ **効果測定**: 導入効果を評価し、改善策を検討します。

## 6.2 導入体制

導入体制は、以下のメンバーで構成します。

- プロジェクト
- プロジェクトマネージャー: 導入プロジェクト全体を統括します。
- システムエンジニア: システム設計、構築、テストを担当します。
- GIS 専門家: GIS データの管理、分析、可視化などを担当します。
- データ管理者: データの収集、整理、標準化を担当します。
- 運用・保守担当者: システムの運用、保守、障害対応を担当します。

## 7. まとめ

### 7.1 SuperMap GIS のメリット

SuperMap GIS は、スマートシティ構築において、以下のメリットを提供します。

- **高度な GIS 機能**: データ管理、分析、可視化、サービス公開など、スマートシティに必要な機能を網羅的に提供します。
- **2D/3D 一体化**: 2次元と3次元のデータをシームレスに統合し、より高度な分析や可視化を可能にします。
- **AI 連携**: AI 技術を活用した画像解析、予測分析など、高度なサービスを実現します。
- **クラウドネイティブ**: クラウド環境での利用に最適化されており、高いスケーラビリティと可用性を実現します。
- **多様なデータ形式に対応**: 様々なデータ形式をサポートし、既存のデータ資産を有効活用できます。
- **豊富な開発ツール**: WebGIS、モバイル GIS、デスクトップ GIS など、様々な開発ツールを提供し、多様なスマートシティサービス開発を支援します。

### 7.2 スマートシティ構築への貢献

SuperMap GIS は、スマートシティ構築において、以下の貢献をします。

- **都市の現状把握**: 都市のあらゆる情報を地理空間情報と結びつけ、都市全体の状況を可視化することで、現状を正確に把握できます。
- **課題の発見**: 収集したデータを分析することで、都市が抱える課題を明確化し、効果的な対策を検討できます。

- **施策の立案・実行:** 分析結果に基づいて、効果的な施策を立案し、実行することができます。
- **市民サービスの向上:** GIS を活用した様々なサービスを提供することで、市民生活の質を向上させることができます。
- **持続可能な都市開発:** 都市の課題を解決し、持続可能な都市開発を実現することができます。

### 7.3 今後の展望

スマートシティは、ICT 技術の進化とともに、常に発展し続けています。SuperMap GIS は、今後以下のような方向で進化し、スマートシティ構築に貢献していくことが期待されます。

- **AI 技術の高度化:** より高度な AI 技術を GIS に統合し、より高度な分析や予測を実現する。
- **IoT との連携強化:** IoT デバイスから収集されるデータを GIS と連携させ、リアルタイムな都市状況の把握や分析を可能にする。
- **オープンデータとの連携強化:** オープンデータとの連携を強化し、より多様なデータを活用したサービスを提供
- **市民参加の促進:** 市民が GIS を通じて都市情報にアクセスし、意見やアイデアを共有できるプラットフォームを構築する。
- **多様な分野との連携:** 防災、環境、エネルギー、交通、医療、教育など、様々な分野のシステムと連携し、より高度なスマートシティサービスを提供する。
- **グローバル展開:** SuperMap GIS を世界中のスマートシティプロジェクトに展開し、持続可能な都市開発に貢献する。

SuperMap GIS は、スマートシティの実現に不可欠な基盤技術であり、その役割は今後ますます重要になっていくと考えられます。

### 本稿のまとめ

本稿では、スマートシティ構築における SuperMap GIS の役割と実践について、以下の内容を詳細に解説しました。

- スマートシティにおける GIS の重要性
- SuperMap GIS の概要と特長
- スマートシティにおける SuperMap GIS の活用事例
- SuperMap GIS の具体的な機能
- スマートシティ構築における SuperMap GIS の実践例
- SuperMap GIS 導入計画と体制
- SuperMap GIS のメリット、スマートシティ構築への貢献、今後の展望

SuperMap GIS は、高度な GIS 機能、AI 技術との連携、クラウドネイティブなアーキテクチャなどを備え、スマートシティ構築に最適なソリューションを提供します。SuperMap GIS を活用することで、より効率的で持続可能な都市開発を実現し、市民生活の質を向上させることができます。

本稿が、スマートシティ構築における GIS の活用に関心を持つ皆様にとって、有益な情報となれば幸いです。